

問1 九州地方から本州へ陸路で移動する場合、北九州市から関門海峡を渡って最初に入る県は、地理的にどのような特徴を持っていますか。その役割や位置関係について述べたものとして正しいものを選びなさい。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 本州の西端に位置しており、関門橋などを介して北九州市からの玄関口の役割を担っている。
2. 九州地方に属しており、四国地方への玄関口として多くの橋が架けられている。
3. 中国地方の東側に位置しており、近畿地方との経済的な結びつきが非常に強い。
4. 本州の北端に位置しており、対馬海峡を挟んで朝鮮半島との貿易が盛んである。

問2 交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。
2. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。
3. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。
4. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。

問3 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 尾道・今治ルート
2. 児島・坂出ルート
3. 神戸・鳴門ルート
4. 明石海峡ルート

問4 広島県の工業において、製造品出荷額の36.2%を「機械工業」が占めている背景や理由として、適切な説明はどれですか。

（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。
2. 広大な農地を活かした食料品加工業が県の全域で発達しているため。
3. 石油化学コンビナートが集中し、プラスチックなどの生産が最大であるため。
4. 高速道路沿いにIC（集積回路）を生産する電子部品工場が集積しているため。

問5 岡山県の沿岸部に広がる干拓地での農業経験や技術は、現在、日本国内にとどまらず海外でも高く評価されています。その技術が主にどのような目的で役立てられているか、最も適切なものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 海外の乾燥地や砂漠における緑化事業
2. 熱帯雨林における焼畑農業の効率化
3. 寒冷地におけるビニールハウス栽培の導入
4. 大都市近郊における高層ビル内での植物工場建設

問6 1960年代以降の高度経済成長期において、人口や工場の集中により、生活排水や工場排水が海や湖に大量に流れ込むようになりました。これが原因で水中の栄養分が過剰になり、プランクトンが異常増殖して水の色が赤褐色に変わる環境問題を何と呼びますか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 赤潮
2. 水俣病
3. 青潮
4. 砂漠化

問7 中国・四国地方には、政府の出先機関や企業の支社・支店が集まる拠点となる都市がある。人口が100万人を超え、このような機能を持つ「地方中枢都市」として分類される都市はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 広島市
2. 岡山市
3. 松山市
4. 高松市

問8 高知県では、沖合を流れる黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いてナスなどの野菜を栽培しています。このように、他の産地と出荷時期をずらし、通常の収穫期よりも早く栽培して出荷する農業の方法を何といいますか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. 促成栽培
2. 抑制栽培
3. 二毛作
4. 有機農業

問9 鳥根県の産業的特色について説明した文として、統計的な事実に基づき最も適切なものを次のうちから選んでください。（2019年 鳥根公立入試 類似）

（2019年 鳥根公立入試 類似）

1. 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。
2. 日本最大級の工業地帯を擁しているため、製造品出荷額が数十兆円に達し、第1次産業の就業者割合は極めて低い。
3. 観光業に特化した産業構造を持ち、第3次産業の割合が全国でも最も高い一方で、県内に温泉地はほとんど存在しない。
4. 第1次産業の就業者が半数を超えており、製造業はほとんど行われていないため製造品出荷額の統計が存在しない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 本州の西端に位置しており、関門橋などを介して北九州市からの玄関口の役割を担っている。	北九州市の対岸にある山口県は、地理的に本州の最西端に位置しています。関門海峡には関門橋だけでなく、鉄道や道路のための海底トンネル（関門トンネル）も通っており、九州から本州へ向かう際、あるいはその逆の場合も、必ず通過する「玄関口」としての機能を持っています。
問2	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問3	答え 1 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。
問4	答え 1 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。	瀬戸内工業地域は、沿岸部の埋め立て地を利用して鉄鋼や石油化学などの重化学工業が発展しましたが、広島県においては特に「加工組立型」の性質が強い自動車産業や造船業が発達しています。そのため、製造品出荷額等の構成においても、金属や化学を抑えて機械工業の割合が高くなっているのが特徴です。
問5	答え 1 海外の乾燥地や砂漠における緑化事業	岡山県の干拓地農業で培われた、土壌の塩分を取り除く技術や、厳しい環境下で植物を育てるノウハウは、海外の乾燥地において大きな課題となっている「塩害（土壌への塩類集積）」の対策に非常に有効です。このため、砂漠を緑化し農地へと変える国際的なプロジェクトなどに、岡山の農業技術が応用されています。
問6	答え 1 赤潮	高度経済成長に伴う人口増加や工業化により、有機物や栄養塩類を含む排水が閉鎖性水域に流れ込んだことが主な要因です。これによってプランクトンが爆発的に増殖し、魚介類に窒息死などの被害を与える深刻な漁業被害も発生しました。
問7	答え 1 広島市	中国・四国地方における地方中枢都市は広島市である。広島市は人口が100万人を超えており、政治・経済の中心機能が集積している。岡山市は政令指定都市ではあるが、地方中枢都市としての機能は広島市に集約されている。松山市や高松市は四国の主要都市だが、地方全体の中心拠点ではない。
問8	答え 1 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、その特性を活かして野菜の成長を早める栽培が盛んです。この方法は、他の産地が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。これに対し、長野県などの高冷地で夏でも涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問9	答え 1 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。	島根県は、第1次産業の就業者割合が約8%と、全国平均よりも高い水準を維持しているのが大きな特徴です。製造業においては、特殊鋼や電子部品などの分野を中心に約1兆円強の出荷額を記録しています。加えて、玉造温泉や有福温泉など43箇所の温泉地といった観光資源も、地域の産業を支える重要な要素となっています。愛知県や大阪府のような大規模な重化学工業地帯とは異なる、農林水産業と製造業、観光業のバランスが取れた構造を理解することが重要です。